**認定専門URAの認定申請に係る自己アピール書（仮称）の書き方と様式-専門２**

1. 自己アピール書（仮称）は，様式-専門2を用いて，申請者自身が2ページ以内で書いて下さい。
2. 自己アピール書（仮称）は，審査において，申請者が申請の専門区分における卓越した問題解決能力を備えているか，研究の活性化に重要な位置付けで寄与しているか，組織の機能強化に貢献しているかの判断に用いられます。それらが分かるように，具体的に書いて下さい。
3. 業務の例を用いて示す場合は，直近の過去5年間に含まれるものにして下さい。
4. 理解しやすくするために，項立てや図，表を用いても構いません。
5. 書き方に関する注意
* 様式の枠は変更しないで下さい。ただし，文字数が多くなって，縦方向に拡がることは構いません。
* 様式の申請者が記入する部分は，文字サイズ10.5ポイントで作成して下さい。それ以外のサイズは使用しないで下さい。
* 様式の申請者が記入する部分では，フォントは游明朝，文字の色は黒にして下さい。ただし，強調したいところを太字にしたり，色を変えたり，別のフォントにすることは構いません。
* 様式の青字で書かれた説明や指示は，提出前に消して下さい。提出の際は，不要な部分を削って，自己アピール書（仮称）（様式-専門2）のページだけにして下さい

自己アピール書（仮称）

様式-専門2

(申請者が２ページ以内で書いて下さい。)

作成日（西暦）　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 認定申請する専門区分 | 所定の区分から選んで記入して下さい。 |
| 申請者氏名 |  |
| 所属機関部署・職名 |  |

ここから本文を書いて下さい。

審査では，申請者が申請の専門区分における卓越した問題解決能力を備えているか，研究の活性化に重要な位置付けで寄与しているか，組織の機能強化に貢献しているかの判断に用いられます。それらが分かるように，業務の内容と申請者の役割を具体的に，成果をできるだけ定量的に書いて下さい。

提出時には，青字の部分は消して下さい。